

共用品推進機構だより 2016年07月29日 (17)

目次

(82) 共用品推進機構関連記事

▽「不便さから生まれる便利／星川安之」

▽「ブログを更新しました！」

(83) 製品関連記事

▽「高齢者の営農支援 省力化機器開発に注力／三晃精機」

▽「シニア向け秋冬衣料 動きやすくおしゃれ両立／三陽商会、オンワード」

▽「最大32枚とじるホチキス／マックス」

(84) 行政関連記事

▽「タブレット通じ 手話通訳を仲介／東京都」

(85) 新刊紹介

▽『千夏ちゃんが行く』

▽『目の不自由な人も耳の不自由な人もいっしょに
楽しめるかんたん体操 25』

▽『発達障碍の精神療法 あまのじゃくと関係発達臨床』

(82) 共用品推進機構関連記事

▼「不便さから生まれる便利／星川安之」

日常生活で不便を感じているのは、障害のある人ばかりではありません。
日本で販売されているトランプは、左利きの人が右手に持って広げると、数字は消えてしまいます。これは数字がカードの左上と右下にしか印刷されていないためなのです。

この不便に気づいた今では、四隅に数字を印刷したカードが一般の店で売られ、利き手にかかわりなくトランプゲームを楽しんでいます。

あるとき、とあるメーカーに目の不自由な子供のお母さんから「おもちゃ屋に行っても、うちの子が遊べるおもちゃかどうか分からない。よい方法はないですか?」という手紙が届きました。

それが発端で、業界全体で取り組んだ結果、目が不自由な子も遊べる玩具であることを示す「盲導犬マーク」と、耳が不自由な子も遊べる玩具であることを示す「うさぎマーク」が生まれました。

パッケージを見ればお店の人もお客さんも一目で分かります。玩具メーカーで構成される日本玩具協会では、こうした障害の有無にかかわらず楽しめる玩具を「共遊玩具」と名付けて、1990年からその普及活動を、業界全体で取り組んでいます。

(文藝家ニュース 2016年6月号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

- ・平成27年度共用品推進機構 活動報告会 講演会編
 - ・平成27年度共用品推進機構 活動報告会 交流会編
 - ・平成27年度共用品推進機構 法人賛助会員・団体等紹介編
- 共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(83) 製品関連記事

▼「高齢者の営農支援 省力化機器開発に注力／三晃精機」

三晃精機は、トラックや建設機械のエンジン始動用バッテリーを主軸に、高齢農家の省力化に貢献できる農業用資材を開発・販売する。バッテリー開発で培った技術を生かし、2015年に発売した電動運搬車は、20度の傾斜地でも楽に物を運べるとして、果樹農家を中心に約50台を販売。高齢農家の負担を減らし、やる気を取り戻す原動力にと、主力商品として売り込む。

(日本農業新聞 7月25日7面より抜粋)

▼「シニア向け秋冬衣料 動きやすくおしゃれ両立／三陽商会、オンワード」

三陽商会は70歳代向け婦人服ブランド「バンベール」から、伸縮性の高いプリーツ加工の品ぞろえを増やす。プリーツは合繊生地を熱を加えてシワや折り目をつけるため、伸びやすく体への負担が小さい。オンワードも布帛（ふはく）を使った伸びやすい合繊素材の羽織物を60代向け婦人服ブランド「ジェーンモア」から売り出すなど、アパレル各社が動きやすい服を増やしている。

（日経産業新聞 7月26日15面より抜粋）

▼「最大32枚とじるホチキス／マックス」

10号針で最大32枚までフラットにとじられるホチキス「サクリフラット」。針足を曲げる機構を見直し、2枚から32枚の間でどの枚数でもきれいなとじ形状となるように設計。曲がった針足が平らになるので、とじた書類を重ねやすい。予備針（100本）を収納できるポケットのカバーを透明にし、有無を確認しやすい。合計200本の針を収納できる。

（日経MJ 7月27日12面より抜粋）

（84）行政関連記事

▼「タブレット通じ 手話通訳を仲介／東京都」

東京都、都庁前駅などで東京都は聴覚障害者が暮らしやすくなるように、都有施設でタブレット端末を活用した手話通訳サービスを始めた。都営地下鉄の都庁前駅など全6カ所で、2017年3月末まで実施する。タブレットの画面越しに通訳者が施設を訪れた障害者とコミュニケーションを取り、通訳者が施設の職員と音声でやりとりする。

都庁内の東京観光情報センターなどでもタブレットを設置した。音声認識技術を使い、施設職員の話した言葉を字幕で表示し聴覚障害者が即時に読み取れる機能も付けた。今回の6カ所はモデル事業とし、成果をみて対象施設の拡大を検討する。

（日経MJ 7月25日7面より抜粋）

(85) 新刊紹介

▼『千夏ちゃんが行く』

脳性まひ、結婚、出産、夫の死。悲しさはいつまでたっても癒えないけれど、恋に仕事に突き進む…。躍動する精神、溢れるユーモア。わずかに動く2本の指から紡ぎ出された奇跡のライフストーリー。

著：福本千夏（ふくもと・ちなつ）

発行：飛鳥新社

本体価格：1296円（税別）

ISBN：978-4-86410-491-3

▼『目の不自由な人も耳の不自由な人もいっしょに
楽しめるかんたん体操 25』

カラダのバランス力を高める！腰痛を予防する！目の不自由な人も、耳の不自由な人もいっしょにできるような、わかりやすい、やさしい動作の体操をイラストで紹介。すべての体操を、椅子に腰掛けたままでできる。

著：斎藤道雄（さいとう・みちお）

発行：黎明書房

本体価格：1650円（税別）

ISBN：978-4-654-07646-8

▼『発達障碍の精神療法 あまのじゃくと関係発達臨床』

発達障碍の起源は、乳幼児早期の「甘えたくても甘えられない」心理にある。発達障碍に対する精神療法の心得を述べたうえで、乳児期から成人期までの精神療法の実践知を、実際の療法過程に即して開示する。

著：小林隆児（こばやし・りゅうじ）

発行：創元社

本体価格：2800円（税別）

ISBN：978-4-422-116198

IEC（国際電気標準会議）の AAL（Active Assisted Living：自立生活支援サービス） SyC（システムズコミッティ）の委員会で検討されている、「AAL で使用する専門用語」の CD（委員会原案）の投票が 7 月 15 日に開始されました。

投票期間は 8 週間で 9 月 9 日に終了し、承認される予定です。次回の AAL SyC 会議は 9 月 30 日から 10 月 3 日にドイツのフランクフルトで開催される予定で、その前に ISO（国際標準化機構）の DIS（国際規格案）投票にあたる CDV（投票用委員会原案）投票を開始する予定でしたが遅れがあるかもしれません。

（投票期間は 12 週間）

また、フランクフルト会議では、この専門用語の規格案の第 2 版の作成が開始される予定になっています。（松岡光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>